

報道関係者各位

一般財団法人 雇用開発センター

.....

2020 年卒 大学生就職活動調査の結果速報

◎内々定率は 6.6% (2019 年 3 月 8 日現在)。

◎46.2%の学生が 3 年生の 8 月までに就職活動を開始。活動は早期化・長期化の傾向。

.....

雇用職業情報を提供する、一般財団法人雇用開発センター（代表理事：井上英紀）は、「2020 年卒大学生の就職活動調査」をイブソス株式会社への委託により実施いたしました。

この度、調査結果の速報がまとまりましたので、一部抜粋をお知らせ致します。

【調査概要】

- ◆調査対象 全国の大学 3 年生 男女（2020 年 3 月卒業見込みで、就職活動中、または就職活動を終えた学生）
- ◆調査期間 2019 年 3 月 4 日～3 月 10 日
- ◆調査方法 Web アンケート
- ◆有効回答 362 名（男性：172 名／女性：190 名）

【結果概要】

- ・内々定率 (3 月 8 日時点)：全体で 6.6%。男女別では、男性 9.3%、女性 4.2%。文理別では理系が 7.9%、文系が 6.2%となっている。
- ・就職活動の開始時期：3 年生の 8 月迄に活動を始めた学生が 46.2%、3 年生の 2 月迄では 86.9%と、広報開始の 2019 年 3 月を前に 9 割弱が活動を開始しており、活動の早期化・長期化を示す結果となった。一方広報開始後も「まだ就職活動をしていない」学生も 13.3%と一定数存在する。
- ・インターンシップ：学生の参加経験率は 72.0%。参加期間は 1 日の「ワンデーインターンシップ」が 81.4%で最も多い。
- ・企業の採用スケジュール：39.8%の学生が「(企業は) スケジュールは守るべき」と回答。「守るべきとは思わない」の 19.3%を大きく上回った。
「企業の採用活動早期化が就活にどう影響するか」は、「良くない影響がある」の 25.1%が「良い影響がある」の 16.3%を上回ったが、「影響はない」という回答も 27.1%に上る。
- ・就活でのスマホ利用：「パソコンは使わずスマホだけで活動」(22.4%)と「スマホが殆どでパソコンは時々使う」(36.7%)と約 6 割の学生がスマートフォンメインで就活を行っていることがうかがえる。

【お問合せ】

本調査に関するお問合せは下記までお願いします。

一般財団法人 雇用開発センター 相澤・石塚

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3 丁目 23 番 11 号 プライム浜町ビル 4 階 TEL：03-5643-8220

e-mail：aizawa@earc.or.jp URL：<https://www.earc.or.jp>

1. 就職活動状況

- ・調査時点（3月上旬）で85.6%の学生が就職活動中となっている。一方で「まだ就職活動をしていない」学生も13.3%と一定数存在している。

表. 就職活動 (%)

	n	すでに就職活動を 終えた	現在、就職活動 中である	まだ就職活動をして いない
全 体	362	1.1	85.6	13.3
男性	172	1.7	85.5	12.8
女性	190	0.5	85.8	13.7
文系	241	1.2	87.6	11.2
理系	114	0.9	81.6	17.5
文系×男性	101	2.0	89.1	8.9
文系×女性	140	0.7	86.4	12.9
理系×男性	69	1.4	79.7	18.8
理系×女性	45	-	84.4	15.6

2. 内々定状況

- ・調査時点（3月上旬）での内々定率は、全体で6.6%であった。
- ・男女別では、男性9.3%、女性4.2%。文理別では理系が7.9%、文系が6.2%となっている。

表. 内々定の状況 (%)

	n	内々定を受けた	まだ、内々定を 受けていない
全 体	362	6.6	93.4
男性	172	9.3	90.7
女性	190	4.2	95.8
文系	241	6.2	93.8
理系	114	7.9	92.1
文系×男性	101	8.9	91.1
文系×女性	140	4.3	95.7
理系×男性	69	10.1	89.9
理系×女性	45	4.4	95.6

3. 就職活動の開始時期

- ・「3年生の6月以前」に活動を開始している学生が18.5%、「3年生の8月」までの累計は46.2%と約半数に迫る。3年生の夏休みを利用してのインターンシップへの参加と、それに向けての活動開始を表す数字と考えられるが、結果的に活動の早期化と長期化を招く結果となっている。

表. 就職活動の開始時期 (%)

	n	2018年6月 以前	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10 月	2018年11 月	2018年12 月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
全 体	314	18.5	11.5	16.2	4.1	5.7	5.1	7.0	7.3	11.5	13.1
男性	150	19.3	13.3	16.7	3.3	6.7	6.0	5.3	7.3	10.7	11.3
女性	164	17.7	9.8	15.9	4.9	4.9	4.3	8.5	7.3	12.2	14.6
文系	214	17.8	9.8	16.4	4.7	6.5	5.6	7.5	7.5	9.3	15.0
理系	94	21.3	14.9	14.9	2.1	4.3	4.3	6.4	5.3	17.0	9.6
文系×男性	92	16.3	10.9	18.5	5.4	7.6	5.4	5.4	7.6	6.5	16.3
文系×女性	122	18.9	9.0	14.8	4.1	5.7	5.7	9.0	7.4	11.5	13.9
理系×男性	56	25.0	16.1	12.5	-	5.4	7.1	5.4	7.1	17.9	3.6
理系×女性	38	15.8	13.2	18.4	5.3	2.6	-	7.9	2.6	15.8	18.4

4. インターンシップ

- ・全体で72.0%の学生が「インターンシップに参加した」と回答。

表. インターンシップの参加 (%)

	n	参加したことがある	参加したことはない
全 体	314	72.0	28.0
男性	150	72.7	27.3
女性	164	71.3	28.7
文系	214	72.0	28.0
理系	94	71.3	28.7
文系×男性	92	68.5	31.5
文系×女性	122	74.6	25.4
理系×男性	56	78.6	21.4
理系×女性	38	60.5	39.5

- ・インターンシップの参加期間は、「1日」が81.4%で最も多く、企業側のワンデーインターンシップ導入傾向が続いている。

表. インターンシップの参加期間 (%)

	n	1日	2日	3日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上
全 体	226	81.4	19.0	23.0	8.0	6.2	1.8	2.7
男性	109	78.9	22.9	22.9	7.3	7.3	2.8	1.8
女性	117	83.8	15.4	23.1	8.5	5.1	0.9	3.4
文系	154	85.7	18.2	23.4	6.5	3.9	1.3	3.2
理系	67	71.6	22.4	22.4	11.9	11.9	3.0	1.5
文系×男性	63	82.5	22.2	23.8	4.8	3.2	1.6	1.6
文系×女性	91	87.9	15.4	23.1	7.7	4.4	1.1	4.4
理系×男性	44	72.7	25.0	22.7	11.4	13.6	4.5	2.3
理系×女性	23	69.6	17.4	21.7	13.0	8.7	-	-

- ・インターンシップに参加した企業から、参加後に何らかのアプローチを受けた学生は約半数の47.3%となっている。
- ・また、アプローチの内容としては、「自社セミナーの案内」が67.3%で1位、「早期選考の案内」が56.1%で2位となっており、選考に関する案内が上位を占める。

表. 参加企業からのアプローチ (%)

	n	アプローチを受けた	アプローチは受けていない
全 体	226	47.3	52.7
男性	109	55.0	45.0
女性	117	40.2	59.8
文系	154	48.1	51.9
理系	67	44.8	55.2
文系×男性	63	57.1	42.9
文系×女性	91	41.8	58.2
理系×男性	44	52.3	47.7
理系×女性	23	30.4	69.6

表. アプローチの内容 (%)

	n	自社のセミナーの案内	自社の他のインターンシップの案内	交流会・懇親会の案内	定期的なメール	個別面談	早期選考の案内	インターンシップ結果のフィードバック	業界・会社情報の提供	その他
全 体	107	67.3	29.9	38.3	37.4	29.9	56.1	24.3	11.2	0.9
男性	60	71.7	31.7	43.3	43.3	33.3	45.0	30.0	15.0	1.7
女性	47	61.7	27.7	31.9	29.8	25.5	70.2	17.0	6.4	-
文系	74	70.3	27.0	35.1	35.1	29.7	56.8	25.7	13.5	-
理系	30	60.0	40.0	50.0	46.7	33.3	53.3	20.0	6.7	3.3

- ・インターンシップ参加企業への入社意向については、「入社したい」(32.3%)と「どちらかといえば入社したい」(40.3%)の合計が72.6%に上り、インターンシップが学生の就職活動に大きな影響を与えていることがうかがえる。

表. インターンシップの参加企業への入社意向 (%)

	n	入社したい	どちらかといえば入社したい	どちらともいえない	どちらかといえば入社したくない	入社したくない
全体	226	32.3	40.3	19.5	4.9	3.1
男性	109	33.0	37.6	21.1	4.6	3.7
女性	117	31.6	42.7	17.9	5.1	2.6
文系	154	33.1	41.6	18.2	4.5	2.6
理系	67	31.3	40.3	20.9	4.5	3.0
文系×男性	63	36.5	33.3	22.2	6.3	1.6
文系×女性	91	30.8	47.3	15.4	3.3	3.3
理系×男性	44	29.5	45.5	18.2	2.3	4.5
理系×女性	23	34.8	30.4	26.1	8.7	-

5. 就職サイトの利用

- ・登録している就職サイトについては、「マイナビ」が84.0%で最も多く、「リクナビ」が77.3%、「キャリアタス就活」が37.0%で続き、この3社が寡占状態となっている(複数回答)。

表. 就職情報サイト (%)

	n	リクナビ	マイナビ	キャリアタス就活	あさがくナビ	ダイヤモンド就活ナビ	ブンナビ	アクセス就活	パッションナビ	その他	就職サイトに登録したことはない
全体	362	77.3	84.0	37.0	16.6	8.0	4.4	3.6	1.1	4.4	10.2
男性	172	76.2	83.1	33.1	15.1	11.6	5.8	4.1	2.3	2.3	11.0
女性	190	78.4	84.7	40.5	17.9	4.7	3.2	3.2	-	6.3	9.5
文系	241	83.4	86.7	39.0	19.5	10.0	5.0	3.7	0.8	4.1	9.1
理系	114	64.9	78.1	33.3	11.4	4.4	3.5	3.5	1.8	3.5	12.3
文系×男性	101	81.2	86.1	31.7	15.8	15.8	6.9	4.0	2.0	2.0	9.9
文系×女性	140	85.0	87.1	44.3	22.1	5.7	3.6	3.6	-	5.7	8.6
理系×男性	69	69.6	79.7	34.8	14.5	5.8	4.3	4.3	2.9	2.9	11.6
理系×女性	45	57.8	75.6	31.1	6.7	2.2	2.2	2.2	-	4.4	13.3

6. キャリアセンターの利用度

- ・「利用したことがある」が61.9%で「利用したことがない」が38.1%となっている。

表. キャリアセンター利用の有無 (%)

	n	利用したことがある	利用したことがない
全体	362	61.9	38.1
男性	172	61.6	38.4
女性	190	62.1	37.9
文系	241	67.2	32.8
理系	114	49.1	50.9
文系×男性	101	67.3	32.7
文系×女性	140	67.1	32.9
理系×男性	69	52.2	47.8
理系×女性	45	44.4	55.6

- ・「利用しない理由」としては、「何となく敷居が高く入りづらい」が 50.7%で最も多く、「そもそも場所がわからない」が 23.2%、「利用してもメリットがない」が 20.3%と続く。

表. キャリアセンターを利用しない理由 (%)

	n	そもそも「キャリアセンター」または「就職課」の場所がわからない	利用してもメリットがないと思うから	何となく敷居が高く、入りづらい	周りの目が気になる（就職活動をしていることを知られたくない）	その他
全 体	138	23.2	20.3	50.7	7.2	5.8
男性	66	19.7	19.7	50.0	9.1	7.6
女性	72	26.4	20.8	51.4	5.6	4.2
文系	79	17.7	24.1	50.6	7.6	6.3
理系	58	31.0	15.5	50.0	6.9	5.2
文系×男性	33	18.2	24.2	45.5	9.1	9.1
文系×女性	46	17.4	23.9	54.3	6.5	4.3
理系×男性	33	21.2	15.2	54.5	9.1	6.1
理系×女性	25	44.0	16.0	44.0	4.0	4.0

7. スマホとパソコンの活用

- ・「パソコンは使わずスマホだけで活動」と「スマホが殆どでパソコンは時々使う」の合計が 59.1%で、「パソコンが殆どでスマホを時々使う」と「スマホは使わずパソコンだけで活動」の合計の 8.0%を大きく上回り、学生のスマホ依存が明確なものとなっている。

表. 就職活動でのスマホとパソコンの活用 (%)

	n	パソコンは使わずスマホだけで活動した	スマホが殆どでパソコンは時々使った	スマホとパソコンを半々で使い分けた	パソコンが殆どでスマホを時々使った	スマホは使わずパソコンだけで活動した	スマホもパソコンも使わなかった
全 体	362	22.4	36.7	26.8	6.9	1.1	6.1
男性	172	16.3	33.7	30.8	10.5	2.3	6.4
女性	190	27.9	39.5	23.2	3.7	-	5.8
文系	241	24.1	39.4	23.7	6.2	0.8	5.8
理系	114	18.4	30.7	33.3	8.8	1.8	7.0
文系×男性	101	18.8	37.6	27.7	7.9	2.0	5.9
文系×女性	140	27.9	40.7	20.7	5.0	-	5.7
理系×男性	69	13.0	27.5	34.8	14.5	2.9	7.2
理系×女性	45	26.7	35.6	31.1	-	-	6.7

8. 就活スケジュールについて

- ・前年通りとなった就活スケジュール（3年生の3月に広報開始、4年生の6月から選考開始）については就活期間が「ちょうど良い」「短いと思う」「長いと思う」が大差なく三分される結果となった。活動の本格化がまだこれからということと、ほとんどの学生がまだ結果が出ていないということも影響していると思われる。

表. 就活スケジュールについて (%)

	n	就活期間がちょうど良いと思う	就活期間が短いと思う	就活期間が長いと思う	わからない
全 体	362	29.8	24.9	21.3	24.0
男性	172	29.1	31.4	16.3	23.3
女性	190	30.5	18.9	25.8	24.7
文系	241	29.9	22.4	22.4	25.3
理系	114	28.1	31.6	18.4	21.9
文系×男性	101	31.7	28.7	12.9	26.7
文系×女性	140	28.6	17.9	29.3	24.3
理系×男性	69	26.1	36.2	18.8	18.8
理系×女性	45	31.1	24.4	17.8	26.7

9. 企業の就活スケジュールの順守について

- ・ 昨年秋の経団連の「就活ルール廃止」発表や、売り手市場による企業側の活動早期化の動きがある中、「スケジュールは守るべき」が 39.8%と、「守るべきとは思わない」の 19.3%を大きく上回った。「特になんとも思わない」という無関心回答も 31.2%と高い数字になっている。

表. 企業の就活スケジュールの順守 (%)

	n	スケジュールは守るべきだと思う	スケジュールを守るべきだとは思わない	特になんとも思わない	わからない・興味がない
全 体	362	39.8	19.3	31.2	9.7
男性	172	41.3	19.8	30.2	8.7
女性	190	38.4	18.9	32.1	10.5
文系	241	38.6	17.8	33.6	10.0
理系	114	42.1	21.9	26.3	9.6
文系×男性	101	42.6	16.8	30.7	9.9
文系×女性	140	35.7	18.6	35.7	10.0
理系×男性	69	39.1	24.6	29.0	7.2
理系×女性	45	46.7	17.8	22.2	13.3

- ・ 関連して、企業の採用活動早期化の「就職活動への影響」については、「良くない影響がある」の 25.1%が「良い影響がある」の 16.3%を上回ったが、「影響はない」という回答も 27.1%に上る。

表. 企業の就活スケジュールの影響 (%)

	n	良い影響がある	良くない影響がある	影響はない	特になんとも思わない	わからない・興味がない
全 体	362	16.3	25.1	27.1	16.6	14.9
男性	172	18.0	26.7	26.2	13.4	15.7
女性	190	14.7	23.7	27.9	19.5	14.2
文系	241	15.8	25.7	27.4	18.3	12.9
理系	114	18.4	23.7	26.3	11.4	20.2
文系×男性	101	16.8	28.7	28.7	13.9	11.9
文系×女性	140	15.0	23.6	26.4	21.4	13.6
理系×男性	69	20.3	24.6	21.7	11.6	21.7
理系×女性	45	15.6	22.2	33.3	11.1	17.8

【本調査結果の詳細】

- ・ 本調査結果の全体については一般財団法人雇用開発センターホームページ (<https://www.earc.or.jp>) をご参照下さい。